みんなで支えあう 福祉のまちづくり

 $^{ au$ 協広報 150

発行 社会福祉法人 上富田町社会福祉協議会

〒649-2105 和歌山県西牟婁郡上富田町朝来 755-1 上富田福祉センター tel.0739-47-4757 fax.0739-47-4731

tel.0739-47-4757 fax.0739-47-473 Email k-syakyo@mb.aikis.or.jp H.P http://kamitonda.shakyo-w.jp/

社类



令和5年度 事業計画と予算 社会福祉法人 上富田町社会福祉協議会

【重点 目 標

- 2 1 社会福祉協議会の運営機能 関係機関・団体との連携 強化と財政基盤の確立
- 4 3 能強化と活動推進 介護保険制度改正に伴う事 ボランティアセンターの機

協働の推進

- 5 地域福祉活動の推准 業の整備・展開
- 7 6 障がい福祉サービスの充実
- 動 する小地域コミュニティ活 住民自ら主体となって活動 への支援

【主な事業活動

社会福祉事業

)法人運営事業

各種会議の開催

共同募金事業

赤い羽根募金 (共同募金

)地域福祉活動

1 社協会員の加入促進

2 生活福祉資金貸付

、県社協からの事務委託。

- 3 福祉サービス利用援助事業の
- 5 4
- 広域社協事業への参加
- 6 の推進 ふれあいいきいきサロン事業
- 8 7 ドゴルフ大会の開催
- 9 (10) かみとんだ健康福祉と文化の

(18)

- 11) まつりへの参加

- ボランティア活動
- ボランティアコーディネータ
- 及び広報・啓発の推進
- ボランティア活動の促進
- 福祉関係団体との連携・活動
- 15 災害ボランティアセンター体 制整備の強化
- 社会福祉協議会における災害 時の相互体制強化
- ター設置訓練・研修会の開催

- 成年後見制度の利用相談支援
- ゲートボール大会・グラウン
- 愛の日事業の実施
- 小地域コミュニティ活動支援
- 子育て支援事業の実施
- 12 福祉機器の無料貸出
- 福祉バザーの開催
- ボランティアセンターの機能 強化と活動推進
- |育成
- 個人ボランティア人材の発掘

- 大規模災害に備える為のセン

- 16 社協だよりの発行 広報・啓発事業
- 町広報誌の活用及び行政無線
- 放送の利用
- 関係機関との連携 社協ホームページの活用

17)

- 県社協及び市町村社協との連携 行政機関・民生児童委員協議会 老人クラブ連合会等との連携
- 福祉事業者との連携
- 福祉団体に対する住民の参加促 進や社会福祉事業の活動支援 福祉関係団体の支援と連携
- 障がい児夏期保育の支援
- 福祉教育の推進

(19)

- 児童・生徒の福祉活動及び福祉 福祉協力校等の活動支援
- 学習への参加促進
- 相談事業の推進
- 心配ごと相談所の開設
- 人権相談・行政相談との協力及 び関係機関との連携
- 相談員の研修会への参加と相互 研修の実施

2

日中一時支援事業の実施

- 21) 地域公益活動
- 各地区での児童下校時見守り活 動への支援 ボランティア事業活動支援 一人暮らし高齢者等学生声掛け
- 22 その他の地域福祉活動

●介護予防事業の推進

- (1) の推進 介護予防一般高齢者施策事業
- (2) 通所型介護予防事業の推進
- 3 たすけあいくちくまのステー ション事業の推進
- (5) **(4**) 生活支援コーディネーターの
- 生活支援サービス(配食) の
- **(6)** 通所型サービスCの実施

在宅福祉サービス事業

-)居宅介護支援事業の実施
-)通所介護事業の実施 訪問介護事業の実施
-)介護保険外介護サービス事業の
-)障がい者福祉サービス事業の実施
- 1 居宅介護事業・重度訪問介護 事業の実施
- 介護予防・生活支援サービス事業
-)介護予防支援事業の実施
- 介護予防訪問介護事業の実施
- 介護予防通所介護事業の実施

令和5年度 法人全体収支予算

収入		支 出	
会費収入	1,200	人件費支出	223,719
寄附金収入	500	事業費支出	32,875
経常経費補助金収入	15,659	事務費支出	15,516
受託金収入	31,888	共同募金配分金事業費	399
事業収入	3,365	助成金支出	730
介護保険事業収入	221,310	負担金支出	2,850
障がい福祉サービス等事業収入	4,626	基金積立資産支出	5
受取利息配当金収入	6	固定資産取得支出	456
その他の収入	360	積立資産支出	500
積立資産取崩収入	4,950	その他の活動による支出	12,485
前期末支払資金残高	5,671		
計	289,535	計	289,535

あたたかい思いやり ありがとうございました~

赤 61 共同募金 狠 根 一の御 礼

【単位:千円】

し上げます。

祉活動を行っなるを通じて、おいいが寄せられまが寄せられま の充実に関係団: ます。 心によって支えられておりたくさんの方々の善意と真 (D (V く協 じに 一、〇八九、七三六円の募金 め加住 充実に役立てられます。 寄せられま お礼申し上げま 力 お礼申し上げます。今後力をいただき、心より厚め、各種団体の皆様のご加え、各町内会の皆様はに民一人ひとりのご参加 一層のご理 11 づくり」にご協 お互い 体に配 今回もおかげさまで、 羽 して、県内の社会福和歌山県共同募金協力いただきました 共同募金運動 いが支え合う福祉 っている施設 分され、 L た。 皆様 力 福 お は 祉だ 祉 方

ごと 相談

令和5年5月~令和5年6月までの相談日

上富田町社会福祉協議会では、下記日程で午後1時~3時まで心配ごと相談所を開設してい ます。費用は無料で、相談内容の秘密は厳守されます。

相談は、相談員3名、事務局職員1名で応対します。また、下線のついている日は法務局職員 による相談も行っております。最寄りの相談所へお気軽にお越し下さい。

上富田町社会福祉協議会(上富田福祉センター) 🏗 47 - 4757

上富田福祉センター	5月11日(木)	5月25日 (木)
	6月 1日(木)	
市ノ瀬農村環境改善センター	6月15日 (木)	

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開設を中止する場合がございますのでご了承下さい。



上げます。 います。皆様方のご芳志に感謝申し 他にも匿名の方のご寄付を頂い

7

米 岩 (玄米) 崎 岩崎区 様

金一 るようにと募金活動を行う) サービスが少しでも良いものにな 上富田町立 上富田中学校 (福祉委員会が中心となり、 封として 福 様 祉

市朝 岩 満中陰の志として 瀬 来 田 稗田 琢未 博年 様 様 様

した善意のご寄付です。厚くお礼申 31日まで社協へお寄せいただきま 令和4年12月1日から令和5年3 のご寄 付お

し上げます。

活動中の事故に備えてボランティア活動保険に加入しよう。

ボランティア活動中のさまざまな事故によるけがや賠償責任が保障される制度です。

無償で活動される個人又はグループで、ボランティア活動している方を支えてくれます。安心して活動に取り組んで頂く為にも、ボランティア活動保険への加入をお勧めしています。

例えばこんなときに・・・清掃ボランティアに行く途中に転んでケガをした。

ご加入プラン		令和5年度	
		基本プラン 天災・地震補償プラン 特定感染症 重点プラン [新設]	
	死 亡 保 険 金	1,040 万円	
	後遺障害保険金	1,040 万円(限度額)	
	入院保険金日額	6,500円	
ケガの補償	手 術 入院中の手術	65,000円	
保	保 険 金 外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額	4,000円	
	特 定 感 染 症	補償開始日から10日以内は補償対象外 初日から補償	
地震・噴火・津波による死傷		× 0 0	
賠償責任の補償 賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5 億円(限度額)	
年	間保険料	350円 500円 550円	



- ※補償期間 (保険期間) は令和5 年4月1日午前0時から令和6 年3月31日午後12時までとなります。中途で加入される場合 も上記の保険料となります。
- ※基本プランでは地震・噴火・津 波が起因する死傷は補償され ません。

【申込み・お問い合わせは 上富田町社会福祉協議会 Tel47-4757】

くちくまの福祉バザー

今年度も上富田福祉センター裏の駐車場で「くちくまの福祉バザー」を行いますので、バザー用品の提供をお願いします。誠に勝手ながらお受け取りできない物もありますので、下記参考の上、社会福祉協議会まで連絡いただきご持参ください。(5月27日[日]に開催予定です。雨天の場合は中止または延期になる場合がございます。)

(上富田町社会福祉協議会 地域福祉課 ☎47-4757)

お受け取りできるもの・・・ ○台所用品、洗剤類 ○セット食器 ○タオル ○衣類(新品) ○雑貨 ○おもちゃ・子供用品 (ただし、お受け取りできない品物もありますのでご3承ください)



支之合い 助け合いの まちづくりをテーマに…

CCCCCCCC

令和4年12月3日 みんなでいきいき介護予防 「たすけあいの町

上富田フォーラム」

さわやか福祉財団インストラクター高林 稔氏による健康長寿や地域ぐるみで助け 合う環境づくりについて基調講演があっ たほか、地域で活動するボランティア団 体などが取り組みを発表しました。



R

R

R

E 15

 $\in \mathbb{R}$

E 13



令和5年2月2日 「第1回支え合いまちづくり ワークショップ」

自分が5年後10年後に生活を送る中での困り事を「困り事カード」の中から選び、いま自分ができる事や普段の生活の中で、ご近所付き合いやお裾分け等が支え合いになっていることを学びました。





令和5年3月2日 「第2回支え合いまちづくり ワークショップ」

地区別グループに分かれ、自分の住んでいる 地域の困り事や、その解決に繋がるためのコ ミュニティ作りとして、人が集まる場所など を話し合いました。





プランティアので 大きな事をしなくても、 自分ができる小さなことでも いいんだよ!

新宮市社会福祉協議会 「福祉委員研修会」に参加し、 上島田町まちかどかフェの活動報告を行いました





令和5年2月16日(木)、まちかどカフェ会長中本多比子さん・会計山際富子さん・事務局2名で参加。

各地域のボランティア住民が主体となり行っている「まちかどカフェ」について中本さん・山際さんが発表を行いました。カフェを始める事になったきっかけや、ボランティアの楽しさ、コロナ禍でのカフェ開催の工夫や、カフェが「人と人とのつながりの場」「居場所」になっている事を説明。カフェを行っている中で、「みんなの顔が見える、みんなに会えるこんな場所があって嬉しいわ」という参加者の言葉が励みになり頑張れるなど、様々な体験談を交えてお話されていました。また、スライドにてそれぞれのカフェの様子も紹介。

当日集まってくださった新宮市福祉委員約70名の方々とのグループワークにも参加。さらに、まちかどカフェの魅力を伝える事ができました。「上富田町ふれあい・支え合いの地域づくり」をテーマに、事務局より上富田町の概要や地域支え合い事業(配食ボランティア笑味の会・有償ボランティア・まちかどカフェ)の紹介も行っています。